



超我の奉仕

2005～2006年度
国際ロータリーのテーマ
超我の奉仕

2005～2006年度
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

Weekly Report

創 立：1980年(昭和55年)1月10日
会 長：守谷 巖樹
幹 事：鈴木 幹雄
会報委員長：長坂 邦雄

例 会 日：毎週木曜日 PM12:30～
会 場：ヒルトン名古屋
事 務 局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
T E L：052-211-3803
F A X：052-211-2623
M A I L：2760nagoya@mizuho-rc.jp
U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

▶ 第1233回例会

～識字率向上月間～

2005年7月7日(木) 晴 第1回

司 会：(西本 哲会場委員長)
体 操：ストレッチング(堀 慎治会場委員)
斉 唱：「君が代」「奉仕の理想」
ビジター：名古屋RC 中村嘉孝君 他2名
(伊藤 豪親睦活動委員長)

▶ 会長挨拶

守谷巖樹会長

皆さんこんにちは。2005～06年度の会長を仰せ付かりました守谷でございます。年とはっておりますが、なにぶん、ロータリーについては充分勉強をできておらず、甚だ頼りない会長でございますが、幸い岩田副会長、鈴木幹事始め、優秀なスタッフを選んで頂いております。これらの皆様の力を合わせて、支えて下さるとの事でございますので、微力ながらクラブの運営に一年間全力を尽くしたいと考えております。



前年度は、素晴らしい諸先輩の努力によって築いてこられた名古屋瑞穂ロータリークラブの25周年でございました。記念式典も成功裡に終わり、会員の皆様方におかれましては、25年間というクラブの過去の実績に対する満足感を、充分味わわれた事と思えます。今年度は、当クラブが築き上げてきた確固たる基盤に立って、次なる四半世紀への新たなるスタートとなります。新しいスタートにふさわしいクラブ活動を推進していきたいと思えます。

どうか、会員の皆様の温かいご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

▶ 乾杯

大島浩嗣直前会長

先ず以て、前年度皆様のご協力に心より感謝申し上げます。いよいよ、瑞穂ロータリークラブ26年度がスタート致しました。守谷会長、鈴木幹事の門出をお祝いしますと共に、瑞穂ロータリークラブのこの1年のご発展、そして本日出席の皆様のご健勝を祈念致しまして、声高らかに乾杯したいと思います。ご唱和よろしく申し上げます。乾杯!



▶ バッチ、記念品伝達式

大島直前会長・稲葉直前幹事より守谷新会長・鈴木新幹事へバッチの伝達、新会長・新幹事より直前会長・直前幹事へ記念バッチの贈呈が行われました。



▶ 出席報告

落合論出席委員長

会員75名 出席54名 (出席計算人数57名)

出席率78.95%

6月30日は補填により 91.23%
6月23日は補填により 98.25%
6月16日は補填により 96.49%

▶ 幹事報告

鈴木幹雄幹事

- ・次週7月14日(木)「第1回理事会」「第1回クラブアッセンブリ」を13時35分から4階「梅の間」にて開催します。
- ・8月4日(木)第1237回例会は18時より名古屋マリオットアソシアホテルの予定です。

▶ 7月誕生日おめでとう

内田 久利君	船渡 昭人君	吉田 正美君
渡辺喜代彦君	岩田 吉廣君	布目 徳君
岩崎 道夫君	鈴木 圓三君	田中 隆義君

▶ 臨時例会変更のお知らせ

名古屋西		7/28(木)		
名古屋南			8/3(水)	
名古屋北	7/22(金)			8/12(金)※
名古屋東			8/1(月)※	
名古屋守山				8/10(水)
名古屋みなと				8/12(金)※
名古屋東南	7/20(水)※	7/27(水)※		8/10(水)
名古屋和合	7/20(水)			
名古屋名東			8/2(火)	
名古屋名北	7/20(水)			
名古屋大須				8/10(水)
名古屋米	7/18(月)※		8/1(月)◆	
名古屋名駅				8/10(水)
名古屋昭和	7/18(月)※		8/1(月)	
名古屋西南	7/21(木)			8/11(木)※
名古屋東山		7/28(木)		
名古屋空港	7/18(月)※	7/25(月)		
西春日井		7/26(火)		
尾張中央	7/20(水)	7/27(水)		
豊山一城北	7/19(火)	7/26(火)		
名古屋葵		7/28(木)※		8/11(木)※

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◆はサイン受付時間が17:00~18:00となります。

▶ ニコボックス

渡辺喜代彦ニコボックス委員長

- ・7月10日は家内の、7月25日は私の誕生日です。 **布目 徳君**
- ・大島前会長、ご苦勞様でした。守谷会長、鈴木幹事他、執行部の活躍を祈る。 **高村 博三君**
- ・7月18日は妻の誕生日です。守谷新会長、鈴木新幹事のご健闘を祈ります。 **天野 正明君**
- ・今月27日は妻の誕生日です。 **近藤 洋輔君**
- ・今年度一年間よろしくご支援の程お願いします。 **守谷 巖樹君**
- ・守谷会長、鈴木幹事の門出をお祝いして。前年度、皆様のご協力に感謝して。 **大島 浩嗣君**
- ・大島前会長、稲葉前幹事、ご苦勞様でした。皆様一年間、ご協力よろしく申し上げます。 **鈴木 幹雄君**
- ・守谷会長、鈴木幹事のご活躍を心からお祈り致します。鈴木幹事ご苦勞様です。今年度は会員選考委員会です。よろしく願い致します。 **稲葉 徹君**
- ・大島さん、稲葉さんお疲れ様でした。新会長、新幹事、頑張りすぎない様にほどほどに! **内田 久利君**
- ・新年度を迎えました。親睦活動委員会、よろしく申し上げます。 **伊藤 豪君**
- ・大島さん、ご苦勞様でした。 **岡本 忠史君**
- ・新ニコボックスの方々、ご苦勞様です。 **中川啓二郎君**
- ・守谷、鈴木丸の新しい船出を祝して。

鈴木 圓三君 宗宮 信賢君 吉木 洋二君
 岩田 吉廣君 遠山 堯郎君 岩本 成郎君
 長瀬憲八郎君 泉 憲一君 岩根 敬泰君
 加納 裕君 江口 金満君 田中 隆義君

ニコボックス委員会一同

▶ 委員会・同好会報告

▶ 会場委員会: 西本委員長

先日FAXで8月18日(木)2回目の万博例会に関してお知らせをしてあります。食事の都合がございますので、7月13日(水)迄に事務局へ出欠のご連絡を必ずして頂きますよう、よろしくお願ひします。

▶ 地区情報

遠山堯郎地区ローターアクト委員長

- 1)7月10日(日)第2760地区・RAC会長幹事会に出席します。
- 2)7月24日(日)3地区合同プロジェクトに出席します。

▶ 瑞穂ロータリークラブ今年度活動方針 守谷巖樹会長

会長エレクトの指名を受けて一年半、くよくよと複雑な気持ちで過ごして参りました。本日は覚悟を決めて出て参りました。私にとって一つの救いだったのは、業界の国際会議が4月にあり、海外から500人、国内から200人、合わせて700人が参加しました。この国際会議の準備から運営にあたっており、大変多忙で、おかげで気が紛れておりました。ですがそれが終わって、急にストレスが高まってきております。しかし、幹事さんや委員長さんと接触が増えるに従いまして、皆さん頼もしい方ばかりなので、安心感も増してきております。本日は、これらの方々のお力添えを得まして決定した、活動方針を発表させていただきます。



▶ 今年度のRI会長について

今年度の会長、カール・ヴィルヘルム・ステンハマーさんは、1935年1月16日スウェーデンのイエーテボリに生まれました。モニカ夫人と1962年に結婚し、2人の息子、そして2人の孫息子と孫娘が1人います。

氏は、国際的な製品の食品ブローカーであり、ガストF・ブラット社の元オーナーです。ビジネスで活躍していた頃、氏は世界中を回りました。1974年にロータリアンとなりました。氏は、入会後すぐにロータリーのあらゆるレベルの活動に参加し、クラブ、地区、国際レベルで数多くの役職をこなしてきました。2003~04年度識字及び教育推進グループの総コーディネーター、国別ポリオ・プラス担当顧問、及びポリオ撲滅提唱グループのメンバーを務めました。ロータリー財団の大口寄付者及びベネファクターです。

▶ 今年度RIテーマについて

今年度RI会長のカール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏は、次のRIテーマを選びました。

RIテーマ

「SERVICE Above Self」 「超我の奉仕」

氏はこのテーマを選ばれた理由について、要約しますと下記のように述べられております。

「ロータリーは、百年の節目を超え、新たな百年の第一歩を始めるに当たり、この百年に築かれた確固たる基盤と、新しく進むべき方向を示す指針を確立しました。その豊かなロータリーの歴史から学び取る事は将来への確かなエネルギーとなる、という考え方から、重要な使命を的確に表す過去のロータリアンが書き記したメッセージの中で、1911年に採択された『超我の奉仕』が最もロータリアンの精神を表している言葉であるという考えからこのテーマを選びました。」

RI会長のメッセージ

会長は『超我の奉仕』を選ばれ、次の百年に向かって第一歩を歩き始めるにあたり、引き続き次の取り組みをするよう要請しております。

識字率の向上と教育

識字率の向上については大規模な成果を上げてきたが、未だ無数の成人が、簡単な文の読み書きが出来ない状態である。ロータリーの豊かな経験と継続的な活動がまだまだ必要である。

水資源の保全

ロータリーの長年の努力にもかかわらず、世界的な水の危機という脅威があります。ここでもロータリアンの継続的な活動が必要である。

以上二つの緊要な問題の他に、氏は次の事を提案しております。「ロータリークラブは、これに勝る様々な重要な問題に取り組んでおられるが、ロータリーのすばらしさは、奉仕の機会を数多く提供する事にある。クラブは地元社会のニーズを見極め、海外の地域社会にとっても最も有益な奉仕を引き続き行ってほしい。同じ理想や目標を共有する地域団体と協力し、クラブ活動をいかに広げる事が出来るかを検討して下さい。」

第2760地区の年度方針

高橋治朗ガバナーは、RI会長の2005～06年度の方針を受けると同時に、当地区の重要な活動である「愛・地球博」のロータリー館の運営を成功裡に終わらせるため、次の4項目を地区方針として掲げられました。

1. 「超我の奉仕」の具体化

今年はロータリーにとって、第二世紀の最初の年です。1911年に提唱されたこのテーマは、古くて新しい物であります。今の時代にあった親睦と奉仕のあり方を考えましょう。

2. 会員増強と退会防止

効果的なクラブ奉仕をするには、一人でも多くの仲間が必要です。クラブを楽しく魅力あるものにして、各クラブで1人以上の会員を純増させましょう。

3. 愛・地球博の成功

皆さんの力で出来たロータリー館を有効に利用し、国際奉仕・職業奉仕を推進しましょう。それが愛・地球博を成功に導く大きな手がかりの一つになるでしょう。

4. 公共的イメージの向上

公共的イメージを高め、思いやりの心を分かち合う為に、財団を自分達のものとして理解しましょう。財団が、WHO、ユニセフとも協力し、環境問題、教育問題の解決に努力している事を誇りに思いましょう。

名古屋瑞穂RCの年度目標及び活動計画

当クラブは、前年度創立25周年の節目を祝い、新たなる目標に向かって進み始めました。今年度のRI会長のメッセージと、第2760地区・高橋ガバナーの年度方針を受け、過去からの活動の継続を維持しつつ、未来に向かってまっすぐな道のりを据える事が必要であるとの思いから、次のテーマを提案致しました。

1. 次世代を担う子供達の学力向上

RIの重要な活動の一つである“識字率の向上と教育”に対し、国内的には真の学力向上のための活動を行う。

2. 水の大切さのPR活動推進

自然の恵みとしての水が、地球上の生物にとっていかに大切であるか、活動を通してPRする。

3. クラブ長期ビジョンの構築

25年間で築かれた当クラブの素晴らしい基盤の上に、さらに時代を先取りした魅力あるクラブにしていくための活動を発展具体化していく。

4. 会員増強の推進

今まで積み重ねられた努力の成果を出すよう、一層の推進を図る。

5. 8月万博例会の成功

当地区の重要方針である万博成功のために協力する。

6. RI会長賞への挑戦

各委員会がRI会長賞の条件を満たすよう、最大の努力をする。

会長スローガン

“新たなるスタート26”

次なる四半世紀の新たなる第一歩を歩き始める意義を認識し、更なる発展を目指す。

ロータリーワールド

アジア津波被災者救援に結束するロータリアン

2004年12月26日に南アジアを襲った大津波の後、世界中のロータリアンが被災者へ弔意と溢れる支援を差し出しました。インド洋沖の大地震を原因にインド、インドネシア、スリランカなど12カ国を襲ったこの津波で、15万人以上が死亡、数百万人が住居を失いました。

グレンE.エステス・シニア国際ロータリー会長とカルロ・ラビッツァ・ロータリー財団管理委員会

委員長は、全地区ガバナーに宛てた手紙で、ロータリー・クラブや地区がユニセフや世界各地の赤十字・赤新月社と協力して、被災者の緊急のニーズに応じるよう呼びかけました。「この要請への皆さんの有意義かつ迅速な応答によって、大災害の影響を受けた多数の罪なき人々に未来再建の援助ができることを心から望んでいます」

被災地区のロータリアンは何千という被災者の救援のためにすぐさま結集しました。スリランカでは、同国の61のロータリー・クラブの多くが単独で、あるいは災害委員会を設置した第3220地区の他のクラブや人道機関と合同で救援活動に参加しました。

「被害を受けなかったクラブのほぼすべてが支援活動に参加しています。ほとんどのクラブはコロンボにあり、援助しやすい立場にあります」と、災害のわずか数日後にコロンボ・リージェンシー・ロータリー・クラブのマリオ・ペルマル会長は述べました。ペルマル会長のクラブは情報提供や救援物資の収集・配布のためのチームを設置しました。

災害に続く2週間で、グレート・ブリテンおよびアイルランドのロータリー・クラブは津波被災者救援基金に500万ポンド(米貨930万ドル)以上を集めました。また、多くのクラブや個人がアクアボックスやシェルターボックスに直接寄付を行いました。これらは、被災者への非常用物資の提供を目的にRIBI(グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー)のロータリアンが設立した組織です。

南アジアでの長期的な復興活動を支援するロータリアンを援助する目的で、ロータリー財団は南アジア災害連帯基金(Solidarity in South Asia fund)への指定寄付を受け付けています。同基金は2月上旬現在でほぼ150万ドルに達しました。詳しい案内やオンラインでの寄付は、www.rotary.orgをご参照ください。



ロータリアン、スングララジャ・プラブ氏が、津波に押し流されて有刺鉄線にかかった少女の傷を手当てしています。

2億5千万人以上の子供たちに予防接種

2004年11月下旬にインドとアフリカの23カ国で行われたポリオ予防接種キャンペーンで、膨大な数の子供たちが予防接種を受けました。

2005年末までにポリオウイルスの伝播を世界的に阻止することを目標に、撲滅の足取りが加速される中、何万人もの地元ロータリアンと海外から訪れたロータリアンが数百万のボランティアの活動を調整しました。政治家や有名人もキャンペーンに参加しました。

インドでは11月21日からの6日間で1億7,000万人近くの子供たちが予防接種を受けました。戸別訪問キャンペーンでは、同国の89,000人のロータリアンの多くや海外から応援に駆けつけた60名以上のロータリアンが、経口ポリオ・ワクチンの輸送と投与を援助しました。

これとほぼ同じ頃、8,000万人の子供たちを対象に、西・中央アフリカの23カ国で2回目の合同全国予防接種日が開催されました。対象者のうち4,000万人以上は、ナイジェリアの子供たちです。同国で2003年10月に発生したポリオ流行により、以前はポリオがなかった12カ国にポリオが飛び火しました。アフリカのポリオ常在国はナイジェリア、ニジェール、エジプトの3カ国です。

アデ・アデフェソ・ナイジェリア全国ポリオ・プラス委員会委員長は、同国のポリオ撲滅活動が現在は回復したと語ります。この好転の要因として、彼は撲滅に向けたナイジェリア政府の堅い決意と宗教的指導者やオピニオンリーダーの支援を挙げています。その中には、一年にわたる予防接種ボイコットを主導したカノ州の指導的人物も含まれます。「連邦政府の撲滅への固い決意は、オルセグン・オバサンジョ大統領の発言や行動、全国予防接種プログラムへの熱心な取り組み、州知事や他の政府役人の支持などで絶えず実証されてきました」とアデフェソ委員長は指摘しています。

アジアとヨーロッパの祝賀会議、人道的取り組みや青少年プログラムを強調

2004-05年度の会長主催祝賀会議の最初の3回が2004年終わりから2005年始めにかけて開催され、韓国、インド、ドイツのロータリアンにとって、地元クラブや地区が関心と力を注ぐ重要な人道問題や青少年プログラムを集中的に取り上げる機会となりました。

2004年11月15日に韓国の大邱(デグ)で開催された祝賀行事には1,900人以上のロータリアンが出席しました。社会問題への取り組みにおける韓国の49,000人のロータリアンの役割を認識することを目的としたこの祝賀会議では、優れた奉仕プロジェクトをテーマに本会議とディスカッションが行われました。李東建ロータリー財団管理委員会委員とチャン・ゴン・イム第3700地区元ガバナーが共に議長を務めました。

グレンE.エステス・シニアRI会長は、韓国のロータリアンのロータリー財団への揺るぎない支援に対して感謝を述べ、総額でも一人当たりでも首位にある彼等の財政的寄付によって、ロータリーは世界中で何百万もの人々の生活に影響を及ぼすことができるのだと述べました。

12月10日、11日にインドのタミルナドゥ州チェンナイで、ラマクリシュナン・ランガスワミ第3230地区元ガバナーを議長として開催された祝賀会議では、1,000人以上のロータリアンと来賓が識字率向上プロジェクトの効果と課題について話し合いました。エステス会長は、教育がいかに世界に20億を数えるの識字能力のない人々の生活改善の鍵となるかを説明しました。ジョンJ.エバーハードおよびマイケ

ルD.マッカロー両RI理事も講演をしました。

1月8日にドイツのオスナブリュックで開催された青少年プログラムをテーマとする祝賀会議には、多数の青少年交換学生を含む1,200名余りが出席しました。フリードリッヒ・ネグマイヤー第1850地区元ガバナーが議長を務めたこの祝賀会議は、ロータリーの青少年プログラムの成功と未来、およびその奉仕の機会に焦点を当てました。エステス会長は識字率向上、保健問題、水保全という会長強調事項を通して、世界中の数多くの貧しい子供たちを援助するよう参加者に呼びかけました。

この3回の行事の基調講演者等が地元社会の問題に取り組むクラブや地区のプロジェクトに焦点を当てて一方、エステス会長は、超我の奉仕というロータリーの理念の推進のためにさらに多くを行うようロータリアンを激励しました。「私たちはただ語ることによって理念を実践するのではなく、行動に移すことによって実践します。私たちの行動力が親睦の真髄であり、私たちの行動力が奉仕の真髄なのです」と会長は述べました。

流れる対話で水を流すケニア

ロータリアンの特質の1つは、人々を援助する機会を見出す能力です。ケニアのナイロビ・ロータリー・クラブにとって、何気ない会話が大型水プロジェクトの開発につながりました。今日、ナイロビ郊外の数千世帯が生まれて初めての新鮮な飲用水を享受しています。2003年の暮れに社交行事に出席していたナイロビのロータリアン、アティア・ヤヒャ氏は、地元の銀行家と話し始めました。この財務部長は、何気ない会話の中で、彼の銀行は、新築ビルの下を流れる地下水のために浸水の問題が絶えず、常時水を汲み上げて近くの下水道に流さなければならなくて困っていると話しました。

この情報を聞いたヤヒャ氏は考えを巡らせました。彼はこの銀行からわずか2.4キロのところに、新鮮な水の整備されていない貧困街が広がっていることを知っていました。この銀行の不運を、どうにかして、地域の貧困世帯のチャンスにできないものか。地域の鑑定で有望な結果が出たことを武器に、ロータリアンは銀行から貧困街クワングワレまで水を送る地下水道管を設置する許可をナイロビ市議会に求め、速やかにこれを得ました。

最終的な費用が100万ケニア・シリング(米貨12,780ドル)になると見積もったナイロビのロータリアンは、クラブの信託基金から900,000ケニア・シリング(11,502ドル)を捻出し、銀行が100,000ケニア・シリング(1,278ドル)を寄付しました。「鉄鋼管を販売するクラブ会員、スリ・シャー氏が大きく値引きして水道管を売ってくれたので、経費が安く抑えられました」とプロジェクトの落成式に出席したRI水資源グループのユスフ・コドワブワラ元地区ガバナーは説明します。「今日、銀行は浸水問題から解放され、2,000世帯と女学校とモスクに初めてきれいな水が提供されるようになりました」



ナイロビ・ロータリー・クラブ会員がリルタ村立学校の新しい水道を検査するのを見つめる生徒たち。

次週卓話

7月14日(木)

卓話講師: DANCE SPACE GYMNASIUM主宰 野々村明子様
テーマ: 「心の体操しませんか!」

次週行事

7月21日(木)

第1回CF(決算・予算)